

2018年 高校生向け 公開講座

神奈川大学では、大学に関心のある高校生や受験生のみなさんに、実際に大学の先生の授業を体験できる「高校生向け公開講座」を実施します。
30人程のクラスのため、先生との距離も近く、とてもアットホームです。
夏のオープンキャンパスの前に、一足先に“大学生”の雰囲気味わってみませんか？ キャンパスツアーも行います！



法学入門



経済入門



国際経営入門



ことばと文化



人間と社会



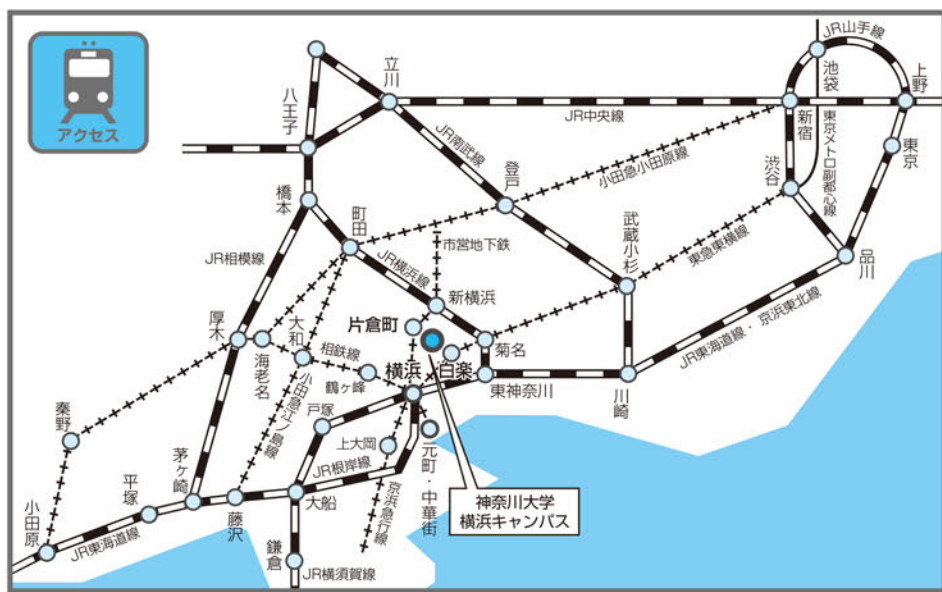
理学入門



工学入門



受講料は
無料です



受講の手引き

- 受講資格 各講座のテーマに関心・興味を持つ高校生・受験生であれば受講できます。
- 会場 神奈川大学横浜キャンパス 3号館、または23号館
- 受講料 無料
- 募集人数 各講座とも約30名
- 申込締切 各講座の実施日2週間前
- 申込方法

① インターネットによる申込み

神奈川大学HPの「高校生向け公開講座」にアクセスし、申込みフォームからお申し込みください。
5月1日(火)より受け付け開始予定です。

② 郵便またはFAXによる申込み

「公開講座申込書」に必要事項を記入のうえ、お送りください。
〒221-8686 (住所は記載不要です) 神奈川大学広報事業課 FAX: 045-481-9300
※収集した個人情報講座の円滑な運営のために使用し、責任を持って管理します。



■ 受講案内通知

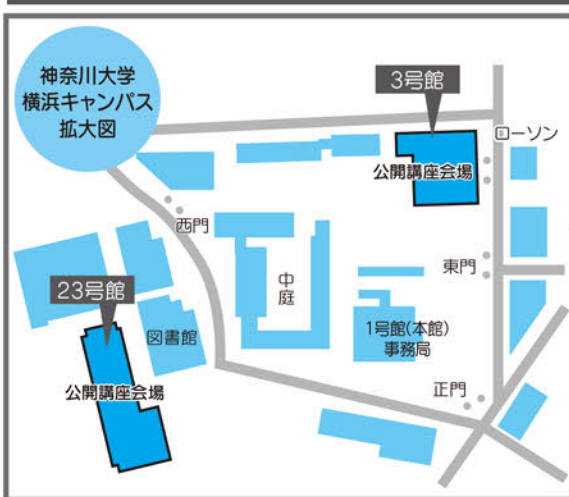
①による申込みの場合は、申込み完了メールを配信いたします。翌日になっても届かない場合は、お問い合わせください。②による申込みの場合は、講座実施一週間前にお送りいたします。

キャンパスツアー開催

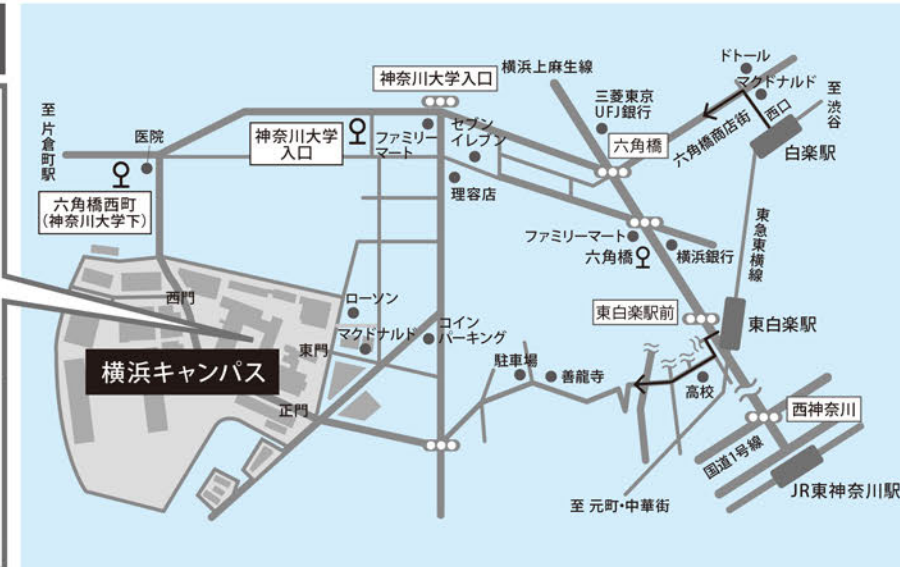
毎回キャンパスツアーを2回実施します。希望者は都合の良い時間を選んでお申し込みください。

- ① 12:50~13:20
- ② 14:40~15:10

会場案内図



- 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車徒歩13分
- 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用(東神奈川駅西口経由)
【1番乗場36系統】菅田町/緑車庫行 約14分「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車
【1番乗場82系統】八反橋/神大寺入口行 約14分「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車
- 片倉町駅前(横浜市営地下鉄)より横浜市営バス利用
【2番乗場36・82系統】東神奈川駅西口/横浜駅西口行 約6分「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車



お申し込みにあたってのご注意

- 各講座とも定員に満たない場合は、講座開講時まで随時受け付けます。
- 各講座とも受講申込者が極端に少ない場合や、講座担当講師の緊急な都合などにより、講座の開講を中止または日程を変更することがあります。
- 日程や時間が重ならない限り、複数の講座を受講できます。
- 各講座とも定員を大幅に超えた場合は抽選とさせていただきます。
- 講座申込後、やむを得ずキャンセルされる場合は、速やかに広報事業課までご連絡ください。
- 講師や他の受講生に迷惑のかかるような行為があった場合は、受講をお断りすることがあります。
- 教室内での飲食はご遠慮ください。
- 盗難・その他の事故については責任を負いかねます。

お問い合わせ・お申し込み
KU 神奈川大学広報事業課
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

TEL 045-481-5661(代)
FAX 045-481-9300
HP <http://sp.kanagawa-u.ac.jp/community/extension/>

高校生向け公開講座

各日程で2科目まで受講ができます!

1限(13:30~15:00)、2限(15:20~16:50)から1科目ずつ
興味のある講座を選んでください。

6月2日(土)

6月23日(土)

7月14日(土)

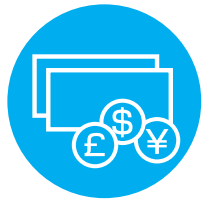


法学入門

1限 13:30~15:00 3号館308教室

政治はなぜ大切か —現代日本政治を題材に
大川 千寿(神奈川大学法学部准教授)

皆さんは「政治」と聞いてどのようなことを思い浮かべますか? 18歳選挙権が導入されたこともあり、高校生の皆さんには政治的主体としての自覚が大いに期待されていますが、なぜ政治は大切なのでしょう?なぜ政治にかかわる必要があるのでしょうか? この講義では、それらの問いへのヒントとなる、政治学の基本の基本的をお話します。特に皆さんにとってなじみが深いであろう、現代日本政治に関する話を切り口にして、政治について一緒に考えてみましょう。



経済入門

2限 15:20~16:50 3号館408教室

日本経済を読み解く

飯塚 信夫(神奈川大学経済学部教授)

国内総生産(GDP)など世の中には様々な経済統計が存在し、WEBから簡単に入手できます。一方、こうした統計には様々なクセがあります。こうしたクセをよく理解し、ニュースなどと合わせて活用すると、皆さんが生活している世の中(=日本経済)をよく理解できるようになります。なぜ、バイトの時給がこのところ上昇しているのか、就活がなぜ売り手市場になったのか、など様々な「なぜ」が解明できます。



国際経営入門

1限 13:30~15:00 3号館408教室

仲間づくりのマネジメント —「経営組織論」はおもしろい
湯川 恵子(神奈川大学経営学部准教授)

皆さんにとってスマホやケータイが欠かせないアイテムになっているのはなぜでしょう? 1つには「仲間とつながりたい」という欲求があるからです。自分一人では達成できない夢を仲間と実現することは皆さんのよく知る映画やアニメの題材にも取りあげられています。実は人とのつながりにはある規則性があり、これを知ることによってクラスや部活動、友達関係など身近なところにある皆さんのヒントが見つかります。もちろん会社経営にも応用されています。この講義では仲間づくりの方法を「経営組織論」の視点からひもときます。



ことばと文化

2限 15:20~16:50 3号館401教室

言葉の意味をめぐって

ウィリアム・マコウミ(神奈川大学外国語学部教授)

言葉は、文化の背景において意味を作るという役割を持っています。私たちは自分の考えを表現したり、他人と話し合うために言葉を使用しますが、実は言葉の意味はある言語の中でも、様々な言語の間でもその意味が異なる場合があります。この点に注目し、本講義では、英語英文学2年生の「基礎研究」という授業の内容を紹介していきます。言葉のそれぞれの意味はどこから来てどういう風になっていくのでしょうか? 言葉の意味について考えれば考えるほど、面白くなってきます!



人間と社会

1限 13:30~15:00 3号館406教室

社会調査入門

松本 安生(神奈川大学人間科学部教授)

現代の社会においては、企業のマーケティング・リサーチ(市場調査)をはじめ、国や自治体の世論調査、テレビ局による視聴率調査、新聞社による選挙調査、さらには研究のための学術調査など様々な社会調査がみられます。この講義では、こうした社会調査の基本的な種類や手法を説明するとともに、インターネットを利用した新しい調査方法なども紹介します。本講義がデータを読み解き、社会をより深く理解するための手がかりになれば幸いです。



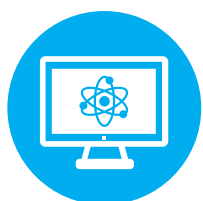
理学入門

1限 13:30~15:00 3号館401室

数学の過去・現在・未来

長 宗雄(神奈川大学理学部教授)

タイトルから講義内容はおおむね理解できると思いますが、これまで人類が取り組んできた問題について、歴史的な順序に従って解説しながら、現在取り組んでいる問題について概説します。数学は自分で考えて解決法を見つけ出すことが重要ですので、一方的な講義ではなく、問題を一緒に考えながら講義を進めます。
※講義には10cm程度の定規を持参してください。



工学入門

2限 15:20~16:50 3号館308教室

振動発電 (機械の微小な振動を電気に変換)

藤本 滋(神奈川大学工学部教授)

発電所や工場に設置されている機械が稼働するとそれぞれの機械から振動が発生しますが、この振動は機械自体の故障や工場全体の事故を誘発しかねない有害な現象です。私たちの研究では、このような機械から発生する振動を高出力発電素子を用いて電気に変換し、この電気を用いてセンサや送信装置を動かす、機械の振動状態を監視しながら故障を診断する技術を開発しています。

2限 15:20~16:50 3号館308教室

家族と法律

篠森 大輔(神奈川大学法学部教授)

現代社会では多くの家族が、離婚、ドメスティック・バイオレンス(DV)、子どもへの虐待、貧困など、さまざまな問題をかかえています。これらは皆さんにとって他人事ではなく、身近で起きていることなのです。このような家族の問題はどのような理由で発生しているのでしょうか。それに対して法律はどのような役割を果たしているのでしょうか。この講座では、いわゆる「赤ちゃんポスト」の問題を素材にして、家族における法律の役割を考えていきます。

1限 13:30~15:00 3号館408教室

データから何が分かるのか

清水 俊裕(神奈川大学経済学部准教授)

最近、社会のあらゆる場面でデータが重要視されるようになってきました。自らの主張が単なる思い込みではないことを示すためには、根拠となるデータを出す必要があるからです。しかし、データを集めてきて並べるだけで、何が分かるようになるわけではありません。それどころか、データの読み方を知らないために、全く根拠のない主張を展開してしまうことまでありうるのです。この講座では「正しいデータの読み方」について、具体例とともに解説します。

2限 15:20~16:50 3号館408教室

フィールドワークへの誘い —東南アジアを歩く

高城 玲(神奈川大学経営学部教授)

フィールドワーク現場を歩き、見て、考えると、そこから新しい世界や自分が見えてくる場合があります。この講座では、東南アジアのタイを歩き、調査してきた具体的な経験を紹介し、現場で問いを発見しながら考え、異文化(他者)や自己を理解していくフィールドワークという方法を模索します。具体的な映像や写真をまじえて紹介しますので、皆さんも現場を疑似的に感じ、考えてみてください。

1限 13:30~15:00 3号館401教室

スペイン語入門

ヴィクトル・カルデロン(神奈川大学外国語学部准教授)

最初に、スペイン語学科の科目内容と教師陣の紹介をし、次にスペイン語能力試験(DELE)対策特別クラス、学生によるスペイン語劇(VTR4分)、留学などのアクティビティについて紹介します。その後、スペイン及びラテンアメリカの歴史・文化の概要を簡単に解説します。そして、スペイン語で自己紹介の会話練習をし、文法の説明・発音練習をします。最後に、1~7の数字を覚えるためにスペインの伝統的なサンフェルミン祭の歌を練習し、祭のVTR(2分)を鑑賞します。

2限 15:20~16:50 3号館406教室

実験で測る心: 音楽を聴く心を中心に

松永 理恵(神奈川大学人間科学部准教授)

私たちは、日本語の環境に身を置いているだけで、自然と日本語を理解し、使いこなす能力を獲得していきます。このことから、言語とは、人間ならば誰しもが獲得する心の能力の一つであることが分かります。では、音楽はどうでしょうか。音楽は音楽家だけがもつ能力と思われがちですが、実はそうではありません。音楽も言語と同じように、音楽環境に身を置いているだけで、自然と獲得していく心の能力です。本講義では、音楽を聴く心のしくみを、心理学実験の体験を通して探求していきます。

2限 15:20~16:50 3号館401教室

身近にある発光化学反応

山西 克典(神奈川大学理学部特別助教)

「化学発光」は、私たちの身近な所に存在し様々な形で利用されています。例えば、ルミノールの化学発光は科学捜査に利用され、サイリウムの化学発光はコンサートやお祭りなどでケミカルライトとして使用されています。また、生物において酵素が関与する化学発光は生物発光と呼ばれています。このような身近に用いられている化学発光の原理を簡単に解説し、実物を用いた「化学発光」の実験を行います。

1限 13:30~15:00 3号館308教室

脳科学と工学の接点 —視覚と画像

齋藤 隆弘(神奈川大学工学部教授)

感覚は脳が生み出す知能です、脳神経科学の進歩により、視覚の仕組みが明らかになってきました。視覚の神秘、その仕組みを説明する数理的モデル、それが人工知能の最近の進展へとつながった道筋について紹介します。脳の機能を完全に説明することは原理的に不可能ですが、その大まかな姿の数理的モデルは種々の工学分野へと応用できます。一例として、劣化した観測画像から綺麗な画像を復元する技術への展開について紹介します。

1限 13:30~15:00 3号館308教室

法と動物 —「動物の権利」に焦点を当てて

東郷 佳朗(神奈川大学法学部准教授)

みなさんの中には、犬、猫、熱帯魚などペットを飼っている人がいることと思います。人間(他人)に危害を加えたら罪を問われますが、ペット(または家畜)を殺傷したり虐待したりした場合にはどうなるのでしょうか。あるいは、ペットの犬や猫に家族の一員として遺産を残してやることはできるでしょうか。この講座では、私たちにとって身近な存在である動物が法の世界でどのように位置づけられているか、「権利」という言葉を手がかりに考えてみたいと思います。

2限 15:20~16:50 3号館408教室

海外に出てビジネスをしよう

瀧山 直人(神奈川大学経済学部助教)

現代のビジネスシーンにおいて海外マーケットを見据えた活動は欠かせないものです。では企業はどうやって海外に出て、様々な国の違いを乗り越えて成長していけるのか、これは難しくかつ興味深いテーマです。この講座では、こうしたグローバルビジネスの基本的な考え方について具体的な例を取り上げながら紹介したいと思います。グローバルな視野は、皆さんが将来の仕事や生き方を考える際に、きっと役に立つと思います。

1限 13:30~15:00 3号館408教室

先入観のしくみと社会的差別 —沖縄の歴史を例に

泉水 英計(神奈川大学経営学部教授)

自由な思考をさまたげる先入観が悪いものだとは誰でも感じているはずですが、それがかならずしもあやまった観念や見解ではないということは十分に理解されていないようにみえます。問題は、事実をたどって、ある見方が正しいかまちがっているかということではなく、さまざまな見方ができるのにもかかわらず、特定の見方が唯一の正しい見方であると信じられてしまうことにあります。沖縄の歴史と米軍基地問題を例に、先入観のしくみが不平等な社会関係をどのようにささえているか考えてみたいと思います。

2限 15:20~16:50 3号館401教室

ポップカルチャー

ステファン・ブッヘンベルグ(神奈川大学外国語学部教授)

外国語を学ぶ際には、その背景にある文化を理解することが非常に大切です。文化的背景の理解無しには、言葉を理解することもできないからです。しかしながら、グローバル化され、文化の国際交流が活発に行われる現代にあっては、ある特定の文化的背景を理解するのみならず、国境を越えた文化についての知識を身につける必要もあります。私の母語、ドイツ語についての話から始め、音楽や映画の分野でのドイツのポップカルチャーの例をいくつか示し、さらに英語圏の文化から数例を挙げたいと思います。

1限 13:30~15:00 3号館406教室

健康とスポーツ・健康と美

渡部 かなえ(神奈川大学人間科学部教授)

スポーツ・運動は健康に欠かせません。また着飾っていても不健康な人は美しくありません。けれど運動で健康を害する、美しさを追い求めて健康を損なう事例もあります。運動は体だけでなく脳を変化させストレス制御を可能にしますが、運動をしなくなると元に戻ってしまいます。慢性的な炎症を我慢して運動を続ける悪影響は、後年の突然死に繋がります。スポーツ・運動をhealthy & beautiful lifeに繋げていくにはどうしたらいいか、考えていきましょう。

1限 13:30~15:00 3号館401教室

植物への遺伝子導入

安積 良隆(神奈川大学理学部准教授)

アグロバクテリウムという土壌細菌は自分が持っている遺伝子を植物の細胞のゲノムの中に挿入する能力を持っています。アグロバクテリウムはこの能力を自分自身の増殖のために持っていますが、人はこの能力を、植物を改良したり研究したりするのに利用しています。この植物への遺伝子導入の原理と応用例について解説する予定です。

2限 15:20~16:50 23号館803教室

エネルギーや化学物質をつくる触媒の実験学習

上田 渉(神奈川大学工学部教授)

私たちの生活に欠かせない化学製品の多くは、通常では起こらない化学反応を引き起こす触媒の力を用いて製造されています。また、有害物質を除去して環境を良くする触媒や、触媒の力で光のエネルギーを水素に換え、その水素を電気エネルギーに換える燃料電池も触媒が使われます。このような大変重要な役割をする触媒を実験(液体の硫酸と同じ働きをするゼオライトと呼ばれる触媒の固体を使います)で実際に使って体験したり、触媒のモデルを自作してその働きを理解する講義をします。